

「広島神楽」定期公演へようこそ!

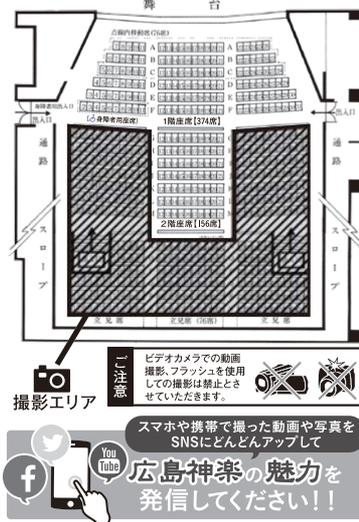
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



8月10日のタイムスケジュール

出演：今田神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『羅生門』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『大江山』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

いまだかくらだん

今田神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

今田神楽団は広島県山県郡北広島町今田地区に現存する、今田八幡神社及び後有田新宮神社に神楽を奉納するため、明治中期より結成し、活動が始まったと言われていました。

現在、20代から60代までの団員約20名で構成し、伝統の舞を大切に継承するとともに、新しい舞を創造し、楽しくそして厳しく、年間を通じて練習に励んでいます。年間およそ20回程度、イベントや秋祭り等で上演にお客様に大変ご好評をいただいております。

第一幕『羅生門』(らしょうもん)

平安中期、京の都は、長雨、疫病、盗賊の横行など不穏な世情が続いていました。

都・羅生門で渡辺綱(わたなべのつな)に茨木童子(いばらぎどうじ)の左腕を切り取られた酒呑童子(しゅてんどうじ)は、子分可愛さの念に惹かれ、綱の乳母・白妙(しらたえ)の身体に取り入り、自らがその白妙に化けて綱の屋敷に入り込むと、ついにその腕を取り返します。

綱は主君・源頼光(みなもとのらいこう)の助けを得てこの妖鬼と戦いますが、鬼たちは虚空飛天(こくうひてん)の妖術で、大江山へと飛び去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 大野 真司	源 頼 光 … 香 浦 匠汰	酒 呑 童 子 … 真 倉 仁 司
	小太鼓 … 岡田 真歩	渡 辺 綱 … 森 廣 洋	茨 木 童 子 … 河 野 隼 人
	手打鉦 … 山本 諒平		白 妙 … 富 田 雄 太
	笛 … 岡田 真季		

第二幕『大江山』(おおえやま)

平安は一条天皇の御代、都では毎夜見目良き姫君がさらわれ、財宝が奪われるなど、怪しく恐ろしい出来事が相次ぎ、都の民は貴族を問わず憂っていました。一連の所業は丹波の国・大江山に根城を構える大悪鬼、酒呑童子一味の仕業と分かり、帝は武勇に優れた源頼光に討伐の勅命を下しました。

頼光一行は日ごろより信心する石清水八幡、熊野権現、春日大明神の三社の神の神託を得て、人には力、鬼には毒となる不思議な神変鬼毒酒を醸し頼光に授けます。頼光と家来の四天王一行は山伏に変装し、険しい山道を進み、途中、捕らわれの身となった紅葉姫の案内のもと岩屋に辿り着きます。いぶかしがる酒呑童子の厳しい尋問、問答の末、安心を得て、例の神酒をすすめ、喜び酒宴となり良い節と所へ切り込み、激しい戦いの末、見事退治するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 上 中 寛輝	源 頼 光 … 森 廣 洋	酒 呑 童 子 … 大 野 真 司
	小太鼓 … 岡田 真歩	渡 辺 綱 … 香 浦 匠 汰	茨 木 童 子 … 真 倉 仁 司
	手打鉦 … 河 野 隼 人	坂 田 金 時 … 富 田 雄 太	唐 熊 童 子 … 山 本 諒 平
	笛 … 岡田 真季	紅 葉 姫 … 新 中 達 也	